

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	20	20	10	0	
総合 力 指 標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	10	10	0	10	0	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義で学習した内容から出題する(穴埋め式)。文章力及び問題を発見・解決する力を問う文章題。				答案返却時に解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	教育問題についてのレポートで評価を行う。評価はABCの3ランク(4,3,2)で評価点をつける。5回行う。				評価後解説を行う。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		グループワーク、ディスカッションにおける口頭での成果発表を評価する。評価はABの2ランク(4,3)で評価点をつける。5回行う。				評価時に解説を行う。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①		評価はABの2ランク(2,1)で評価点をつける。5回行う。				評価時に解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	担当教員は、高等学校の教員として40年の実務経験を有する。また、支援学校教諭の免許も取得し、小中学校で支援員として9年間生徒へ関わってきた。						
実践的授業の内容	高校教員としての勤務経験を活かして、実例を交えながら授業を展開していく。						
そ の 他	授業中の私語やスマートフォンの操作は禁止する。 講義の進捗状況や学生の理解度に応じシラバスを変更することがある。						